



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月2日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 名
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井博史
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 村瀬 透 TEL 052-732-7789
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	50,469	—	2,151	—	2,151	—	1,221	—
25年2月期第2四半期	46,282	6.3	1,470	58.1	1,463	60.7	694	1,012.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	117.30	—
25年2月期第2四半期	66.64	—

(注) 当社は、平成25年2月期より決算日を1月20日から2月末日に変更しております。これに伴い、26年2月期第2四半期（3月1日から8月31日まで）と比較対象となる25年2月期第2四半期（1月21日から7月20日まで）の期間が異なるため、26年2月期第2四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	51,073	17,746	34.7	1,703.91
25年2月期	45,273	16,497	36.4	1,583.90

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 17,746百万円 25年2月期 16,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	6.00	—	14.00	20.00
26年2月期	—	15.00	—	—	—
26年2月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	—	5,500	—	5,450	—	2,200	—	211.22

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 平成25年2月期は、1月20日決算から2月末日決算へ決算期の変更をしたことに伴い13ヶ月8日の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	10,417,350株	25年2月期	10,417,350株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	2,201株	25年2月期	1,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	10,415,343株	25年2月期2Q	10,415,665株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国の経済は、消費税増税予定による先行き不安が残るものの、いわゆるアベノミクスの効果として、金融緩和政策の影響による円高是正や株価の上昇が進み、景気回復に対する期待が高まりをみせております。

このような中、当社はお客さまの多様な価値観に込められる商品の提案を行っており、PB比率を高める施策を推し進めております。新規のPB商品としては、コールマンの秋冬物の取り扱いを8月より始めております。また、当第2四半期累計期間の出退店につきましては、出店47店舗、退店5店舗を実施し、四半期末店舗数は715店舗となりました。3業態(アスビー・フェミニンカフェ・グリーンボックス)へのストアブランドの整理・統合を推進するとともに、販売促進を強化することでお客さまへのストアブランドの浸透を図りました。

売上高につきましては、既存店売上高が好調に推移しており、また、新規出店が順調に推移していることから、504億69百万円となりました。アスビー業態ではテレビCMを実施し、ブランド認知を高めました。フェミニンカフェ業態では品揃えのカジュアル化を推し進めることにより、売上高のアップに貢献いたしました。グリーンボックス業態では重点商品拡販に取り組み、また、社会的行事(入学式・運動会など)へ対応することにより売上高のアップを図りました。

利益につきましては、値入率の高いPB商品の積極的な導入及び仕入規模の拡大による商品調達コストの削減により、売上総利益率が43.8%となり、営業利益21億51百万円、経常利益21億51百万円、四半期純利益12億21百万円となりました。

当社はセグメント情報を記載しておりませんが、事業部門別の業績は次のとおりであります。

(靴等の販売部門)

靴等による商品売上高は、PB商品であるアスビー、Lee、マッドフット、フェミニンカフェ及びトップパリュの販売促進を積極的に行ったことにより、504億61百万円となりました。

商品別売上状況

商品別	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	
	売上高(百万円)	構成比(%)
紳士靴	8,506	16.8
婦人靴	15,751	31.2
スポーツ靴	13,812	27.4
運動靴・子供靴	8,973	17.8
インポート雑貨	738	1.5
その他	2,679	5.3
合計	50,461	100.0

(その他の部門)

その他の部門の売上高は不動産賃貸収入であり、8百万円となりました。

なお、当社は前事業年度において、1月20日としておりました決算日を2月末日に変更いたしました。これに伴い、前第2四半期累計期間と当第2四半期累計期間とは対象期間が異なることとなりますので、前第2四半期累計期間との比較は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は510億73百万円となり、前事業年度末と比較して58億円の増加となりました。これは主に売上預け金及び商品が増加したことによるものであります。売上預け金は主にディベロッパーに対する債権であり、当第2四半期会計期間の末日が土曜日のため翌営業日の入金となり、33億69百万円増加しております。また、商品は店舗数の増加の影響を受け、21億85百万円増加しております。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は333億27百万円となり、前事業年度末と比較して45億51百万円の増加となりました。これは主に短期借入金、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は177億46百万円となり、前事業年度末と比較して12億49百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ9億14百万円減少し、19億70百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果、使用した資金は18億62百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益20億60百万円を計上したものの、売上債権及びたな卸資産が増加したことによるものであります。売上債権は主にディベロッパーに対する債権であり、当第2四半期会計期間の末日が土曜日のため翌営業日の入金となり、34億28百万円増加しております。また、たな卸資産は店舗数の増加の影響を受け、21億83百万円増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果、使用した資金は8億39百万円となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果、得られた資金は17億88百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出があったものの、短期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期の業績予想につきましては、現地点では平成25年7月3日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,886	1,971
売掛金	241	300
売上預け金	1,928	5,298
商品	23,808	25,993
その他	1,314	1,707
流動資産合計	30,179	35,271
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,492	3,816
土地	1,272	1,272
その他(純額)	1,176	1,053
有形固定資産合計	5,941	6,141
無形固定資産		
投資その他の資産	390	488
敷金及び保証金	6,327	6,217
その他	2,437	2,957
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	8,761	9,171
固定資産合計	15,093	15,801
資産合計	45,273	51,073
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,446	22,035
短期借入金	—	2,600
1年内返済予定の長期借入金	1,399	1,434
未払法人税等	1,258	910
店舗閉鎖損失引当金	0	41
ポイント引当金	218	249
賞与引当金	209	209
役員業績報酬引当金	27	4
その他	2,366	3,647
流動負債合計	25,926	31,131
固定負債		
長期借入金	2,119	1,419
退職給付引当金	36	42
役員退職慰労引当金	34	37
執行役員退職慰労引当金	7	8
資産除去債務	621	658

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
その他	29	29
固定負債合計	2,849	2,195
負債合計	28,775	33,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,326	3,326
資本剰余金	3,157	3,157
利益剰余金	9,254	10,330
自己株式	△1	△2
株主資本合計	15,736	16,811
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	760	934
評価・換算差額等合計	760	934
純資産合計	16,497	17,746
負債純資産合計	45,273	51,073

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年7月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	46,282	50,469
売上原価	26,735	28,362
売上総利益	19,547	22,107
販売費及び一般管理費	18,076	19,956
営業利益	1,470	2,151
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	23	24
その他	8	4
営業外収益合計	34	29
営業外費用		
支払利息	36	27
その他	4	0
営業外費用合計	41	28
経常利益	1,463	2,151
特別利益		
固定資産売却益	2	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	3	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産除却損	20	14
減損損失	90	24
投資有価証券評価損	27	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	41
その他	0	9
特別損失合計	139	90
税引前四半期純利益	1,329	2,060
法人税等	635	839
四半期純利益	694	1,221

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月21日 至 平成24年7月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,329	2,060
減価償却費	497	587
売上債権の増減額 (△は増加)	△289	△3,428
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△768	△2,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△171	1,328
その他	310	935
小計	907	△700
利息及び配当金の受取額	26	24
利息の支払額	△35	△27
法人税等の支払額	△882	△1,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	16	△1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△483	△300
敷金及び保証金の差入による支出	△86	△102
貸付金の純増減額 (△は増加)	1,210	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△200
その他	17	△237
投資活動によるキャッシュ・フロー	657	△839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700	2,600
長期借入金の返済による支出	△731	△664
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△52	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,483	1,788
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△809	△914
現金及び現金同等物の期首残高	4,022	2,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,213	1,970

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。